

公開講座「県大×おまちゼミ・比べて学ぶことばと文化」

「演劇祭は私たちに何をもたらすのか？ —SPACの制作スタッフと考える 『ふじのくに⇄せかい演劇祭』」

SPAC（SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER 静岡県舞台芸術センター）は、専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団で、静岡県が誇る文化財産のひとつです。今回はSPAC制作部丹治陽先生を迎え、4・5月に開催される「ふじのくに⇄せかい演劇祭」の見どころの解説、静岡で国際演劇祭を開くことの意義などをご講義いただきます。



講師 丹治 陽先生（SPAC制作部）

4月21日（木）10時40分～12時10分

於 静岡県立大学 3107教室（国際関係学部棟）

参加費無料。参加ご希望の方は上記のフォームよりお申し込みください（一般15名まで・先着順）。



講師プロフィール

SPAC—静岡県舞台芸術センター制作部 副主任。1982年生まれ。神奈川県横浜市育ち。小学4年から大学までラグビーに熱中。大学では建築設計を学ぶも、劇場・舞台芸術の可能性に気づき、アートマネジメントを志向する。2006年よりSPAC制作部に所属。SPAC作品制作のほか人材育成事業に多く携わる。2015年、文化庁在外研修制度を活用しグラスゴーに滞在。2019年より静岡県立大学非常勤講師。

「県大×おまちゼミ」とは？

静岡県立大学国際関係学部の教員が企画する公開講座です。大学の教室だけでなく、街中のオープンスペースやレストランなども会場に、海外にゆかりのあるゲストを招き、マンガや食文化など親しみやすいテーマをとりあげます。

主催 県大×おまちゼミ実行委員会

後援 静岡市 静岡日仏協会

静岡県立大学広域ヨーロッパ研究センター

お問い合わせ 静岡県立大学国際関係学部・教員 森 直香

naokamori@u-shizuoka-ken.ac.jp

